

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系(英語)
職階	氏名
専任講師	谷野圭亮

項目	取組状況
教 育	<p>【担当科目】            本科2年生 英語表現2            本科4年生 英語4(Hカリ)            専攻科2年生 英語応用演習Ⅱ</p> <p>【工夫した点】            ・解説動画などをクラウド上で一元管理し、学生の学習の機会保障に努めた。</p>
研 究	<p>・生成AIを活用した教員支援ツールを作成して公開した。  <a href="https://taninon.sakura.ne.jp/teacher_tool/home.html">https://taninon.sakura.ne.jp/teacher_tool/home.html</a></p> <p>・2025年度 科学研究費 基盤研究C「生成系AIを使用した英語ライティング教育支援ツールの発展的研究」採択</p> <p>【論文】            谷野圭亮. (2025). 生成AIを活用した英語ライティング教育支援ツールについて. <i>人間文化研究</i>, 22, 223-231.</p> <p>【口頭発表・講演】            谷野圭亮. (2025年3月8日). Teaching AssistantとしてのAI:手軽に始める英作文添削と音声生成. 外国語教育メディア学会関西支部メソドロジー研究部会2024年度第3回研究会.            Tanino, K. (2024, November 9). Contextualizing CLIL for Japan: Insights from a comparative systematic review. The 7th J-CLIL Annual Bilingual Conference in Osaka.            谷野圭亮. (2024年7月31日). 明日から使える英語教師のためのChatGPT活用術. 北河内地区中学校英語教育研究会 委員研修会～明日から授業で使える技を学ぶシリーズ4～.            谷野圭亮. (2024年5月26日). 無料版生成AIを教材作成に活用する方法. 外国語教育メディア学会(LET)関西支部2024年度春季研究大会.            中田葉月, 谷野圭亮. (2024年5月26日). 外国語授業における英作文練習アプリケーション. 外国語教育メディア学会(LET)関西支部2024年度春季研究大会.</p>
社会貢献	<p>・学内外のティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップや総会へ参加した</p> <p>・日本CLIL学会学会誌 <i>Asian CLIL</i> の編集委員</p> <p>・外国語教育メディア学会、関西英語教育学会、日本CLIL学会関西支部で運営委員を務めた。</p> <p>・複数の中学校・高等学校・大学で生成AIの教育利用について教員研修やFDを行った。</p>

<記入上の注意>

教育: 該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。  
 研究: 該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載  
 社会貢献: 該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系(英語)
職階	氏名
専任講師	谷野 圭亮

項目	取組状況
教 育	<p>【担当科目】</p> <p>本科2年生 英語表現 2            本科4年生 英語演習 A            専攻科1年生 英語応用演習 1</p> <p>【工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生成 AI を積極的に活用して、学生の英文添削や学習支援のための方法論などを授業で解説した。</li> <li>・Google Classroom を積極的に活用して、授業に欠席した学生の学習保証を行った。</li> </ul>
研 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生成 AI を活用した教員支援ツールを作成し、ホームページ上で公開した。  <a href="https://ktanino.notion.site/80d02277c2284c99b94b3f3d37d14876">https://ktanino.notion.site/80d02277c2284c99b94b3f3d37d14876</a></li> <li>・2024年度科研費 基盤 C 「生成系 AI を用いた英語ライティング教育支援ツールの発展的研究」 不採択</li> <li>・となりの学校 ICT 活用、探求・STEAM 学習、アクティブラーニング何してる？ BYOD, グローバル、未来の教室、高大連携、情報・デジタルシチズンシップなど            関西教育 ICT 展 2023 年 8 月 4 日</li> <li>・工学系学生(生徒)を対象とした CLIL の観点を盛り込んだタスクの開発            谷野圭亮, 日本 CLIL 学会 関西支部(J-CLIL KANSAI)第7回学習会 2023 年 5 月 13 日            詳細は research map を参照してください。</li> </ul>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外のティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップへ3回参加した</li> <li>・日本 CLIL 学会学会誌 Asian CLIL の編集委員</li> <li>・枚方市立長尾中学校にて教員研修を行った(生成 AI の利活用)</li> <li>・関西教育 ICT 展においてパネリストとしてシンポジウムに参加した</li> </ul>

教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系(英語)
職階	氏名
専任講師	谷野 圭亮

項目	取組状況
教 育	<p>【担当科目】</p> <p>本科1年生 英語表現1 本科4年生 英語演習 A</p> <p>【工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生成 AI を積極的に活用して、学生の英文添削や学習支援のための方法論などを授業で解説した。</li> <li>・Google Classroom を積極的に活用して、授業に欠席した学生の学習保証を行った。</li> </ul>
研 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定教科書を深めて Soft-CLIL な授業を構築する + 授業支援ツールの紹介 谷野 圭亮. CLIL 教員研修プログラムワークショップ 2023年3月25日</li> <li>・高専における英語学習者の動機づけと学力推移の関係についての調査研究 谷野圭亮, 瀬田和久, 林佑樹. 教育システム情報学会 2022年度第2回研究会 2022年7月16日</li> </ul> <p>詳細は research map を参照してください。</p>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学内外のティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップへ3回参加した</li> <li>・日本 CLIL 学会学会誌 Asian CLIL の編集委員</li> </ul>